

えーる！

平成 26 年号

 まちづくり応援団 えーる

もくじ

第9号

いっておかえり鹿野市特集

第10号

コアブラザまつり特集

第11号

名水サミットと同時期開催イベント特集

第12号

網代特集

第13号

潮音洞と清流通り特集

第14号

かのふるさとまつり特集

第15号

しぶかわ収穫祭、いっておかえり鹿野市特集

開催！ いっておかえり。鹿野

えーる！

発行：
町づくり応援団“えーる”
URL：
<http://straynotes.net/>
Mail：
yell@straynotes.net



平成26年5月24日～
5月25日 開催！

鹿野の町なかへ「いって、おかえり」

田植えも終わり、しだいに暑さも増してきている今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

長らくお休みしていましたが「えーる！」ですが、不定期ながら発行を再開し、鹿野にエールを送っていきたいと思います。

再開の第九号では、五月二四日・二五日にかけて鹿野の商店街で開催された「いっておかえり。鹿野市」をご紹介します。旧山代街道沿いに新設された、田舎暮らし居住体験住宅「愛ちゃん家」（田原歯科さんのあった場所です）を会場の拠点として、なんと六百年以上の歴史がある「鹿野茶」や日用品の蔵出し市、カフェやギャラリーなどが開催されました。こうしたたくさんのお店の会場になったのは、上市に連なる民家なんですよ。主催である、鹿野ブランド創出研究会、鹿野景観まちづくりの会の皆さんの尽力はもちろん、お店を出された皆さん、そして民家を提供してくださった町の皆さんの力が一体となって成功したイベントだったのでないかと思っています。

わたしは二四日に取材を兼ねて顔を出しましたが、実は鹿野の昼間を歩くのはとても久しぶりでした。

開催前の時間帯から、出店者の皆さんがにぎやかに準備をされているのを見つつ、どんなことが起こるんだろう、とワクワクしながら待っていました。なんだかお祭りの

日のような感じがして、来てよかったと思えるイベントだったと思います。こうしてみんなの力が集まって開かれるイベントというのは、とても鹿野に元気を与えてくれますね。

次の開催の時も、楽しみに参加させてもらおうと思います！



イベント ぶらり歩きました

～ 懐かしくて、あたらしい、昭和のかほり ～

今回のイベントは、ぐるっと回ったらすぐ帰ろうかな……と思っていたのですが、気が付けば屋ご飯を食べてもまだぶらりと歩きまわっていました。不思議な、離れたくない雰囲気のある素敵なイベントだったように思います。

そんな「いっておかえり。鹿野市」ですが、参加者があちこち歩きたくなくなるようなしかけがたくなさありません。

左の写真の人形をご覧ください。「鹿野土の妖精」と名付けられたこの人形を、お手持ちの携帯電話などで写真に収めると、鹿野の特産品がもらえるポイントラリーが行われていたんです。わたしもついつい、どこにあるのかと探して回っていました。パンフレットにヒントは書いてあったんですが、いざ探すとなると



と「どこだろう？」と店の中をきょろきょろ……見つけた時の嬉しさが、いい思い出になりました。

右の写真は、昔懐かしの射的コーナーの写真です。小さな子どもに混じって、おもちゃの銃を手にとらせてもらいました。大当たり！ は外してしまいました。が、なんとか当たりをもらえました。



の開催となりますが、次回も楽しいイベントですね！

今回の会場となった旧山代街道沿いの鹿野商店街は、昔から街道の要所として発展してきました。何百年という昔から、鹿野の人たちの力にぎわってきたこの町並みは、今もこうして元気を発信しています。

こうしたイベントを繰り返して、いつもこんな賑わいがある鹿野になればいいな、と思います。

次回は今年八月頃の開催予定とか。今から楽しみです！



コアプラザまつり、開催！



えーる！

発行：
町づくり応援団“えーる”
URL：
<http://straynotes.net/>
Mail：
yell@straynotes.net

講座・自主学習団体一覧

鹿野詩吟同好会・錦城流鹿野支部（詩吟）、
楽書の会（書道）、周南市文化協会茶道
連盟鹿野（茶道）、文化協会華道部（華
道）、でこぼこの会（版画）、パッチワ
ーク教室（鹿野婦人会）（パッチワーク）、
手作りの会（鹿野婦人会）（手芸）、鹿
野絵画クラブ（絵画）、ふしぎな花倶楽
部「すずらん会」（押し花）、絵手紙ク
ラブ（絵手紙）、囲碁同好会（囲碁）、
よっしゃこい（よさこい）、鹿音ピクス
（エアロピクス）、鹿野健康体操（健康
体操）、かのこ会・周南民舞連盟 鹿野せ
せらぎ会・山村会（日本舞踊）、ダンス
サークル スウィング（ダンス）、銭太鼓
体操部（銭太鼓）、大正琴「鹿野あい&
アイ」（大正琴）、コーラスひばり会
（コーラス）、劇団「わ」（演劇）、鹿
野パソコンクラブ（パソコン講座）、ル
ピナス（福祉団体）

（敬称略、順不同）

旧グリーンハイツの建
物を利用して、保健・福
祉・医療・地域活動の拠
点としてオープンしたコ
アプラザかのが、五周年
を迎えました！
余談ですが、当団体
「えーる」発行のフリー
ペーパー「くちコミ」第
一号も、コアプラザかの
の特集でした。コアプラ
ザかのの活動とともに始
まった「えーる」の活動
も、五年目になんですよ。

さて、コアプラザかの
の五周年を記念して、六
月二十八日に開かれた「コ
アプラザかのまつり」に
は、たくさん地域団体
の方が参加され、一日間
のイベントを盛り上げて
いらっしやいました。
参加団体の一覧表は左
の表の通りです。当日は
コアプラザのほぼ全室を
利用して、たくさんの方
体の方々の力が集まりま
した。左の表以外にも、

スタンプラリーや観光ボ
ランティアガイドの方々
による「鹿野の昔の町中」
のご案内、高野センター、
大潮田舎の店、しぶかわ
工房の皆様による販売な
どもあり、とても賑やか
な時間でした。コアプラ
ザ前の駐車場は、曇り空
にも関わらず満車状態で
した。
正午からは木村市長の
言葉に続き、劇団「わ」
の公演もあったんですよ。

コアプラザかのは、五周年を迎えました。

皆様も参加してみませんか？

～ 団体活動は「見る」だけじゃない！ ～

わたしも実際にコアプラザまつりの中で、皆様の活動を体験してまいりました。

右の写真は、二階で行われていた「カロリング」の体験コーナーで撮影した写真です。

この「カロリング」、よくテレビで見かける「カロリング」にとっても



よく似ていると思いませんか？ それもそのはず、このカロリングとは、カロリングを氷の上で行うのではなく、室内でやるように考案されたスポーツなんです。

右の写真のような円盤を、ポイントゾーンに向けて進ませ、得点を競うというスポーツですが、

これが単純そうに見えてとても奥深いんです。まっすぐ投げたつもりがだんだん曲がって進んでしまったり、力加減が難しくて届かなかったり……ついつい真剣な気持ちで円盤を転がしていました。

このカロリングですが、七月の終わりに総合体育館で交流大会が開かれる予定となっています。もし、興味がある方がいらっしゃれば、参加を考えられてみてはいかがでしょうか？

交流大会のご案内

日時 七月二六日（土）
一八：〇〇～

場所 鹿野総合体育館

参加費 無料

応募締切 七月一八日（金）

お問い合わせ 鹿野公民館（68-2094）

**お問い合わせは
鹿野公民館まで**

コアプラザまつりに参加された団体様は、一緒に参加される仲間を募集されています！

左の「絵手紙クラブ」様をはじめ、様々な展示



がありました。これを機に活動に参加したい、活動に興味があるという方は、ぜひ鹿野公民館（68-2094）までお問い合わせくださいませ。

たくさんの方の仲間たちと、楽しい時間を過ごしてみませんか？

名水の涼を楽しみませんか？



えーる！

発行：
町づくり応援団“えーる”
URL：
<http://straynotes.net/>
Mail：
yell@straynotes.net

「平成の名水百選」って？

地域生活の中にとけこんでいるきれいな水環境のうち、特に「地域住民等によって、主体的・持続的に水環境の保全が行われているもの」を選定したものが「平成の名水百選」と呼ばれています。

鹿野の潮音洞、清流通りは、今も農業用水として使われており、地域生活にとけこんだ水として親しまれています。これからも、このすばらしい環境を保ち続けていきたいですね！

鹿野の風プロジェクト 第10章

「鹿野のおいしい・・・ 水でおもてなし！」

開催日時：8月1日（金）～3日（日）

参加店舗（敬称略）：

さくや、K & M（8月1日より新規オープンです！）、
カツウラ、マルタ、911、大田屋、周平堂、石船
温泉、たぬき、長野山口ッジ

*ご利用者様に数量限定で「お水」をレゼントいたします！ 料理とおいしいお水をめしあがれ♪

毎日暑い日が続いていますね！ 皆様は暑さに負けず、お元気で過ごされていくでしょうか。

さて、今日は徳山で

「名水サミットin周南」

が開催されます。鹿野の名水といえば、漢陽寺さんの裏山を掘りぬいて作られた「潮音洞」ですが、この調音洞、そして清流

「名水」サミット開催！ 鹿野はとっても元気ですー！

通りは、「平成の名水百選」に選ばれた、名実ともに「名水」と呼べるものなんです。

「鹿野のおいしい水でおもてなし！」です。

毎回様々なテーマで飲食店が共演するこのプロジェクト、今回のテーマは「水」です。

料理には欠かせない水とはいえ、それを参加される店舗の方々がどのように魅せてくれるのか、とても楽しみです！

同時開催イベント

会場：コアプラザかの
時間：10:00～17:00（4日は16:00まで）
シンポジウムは8月3日開催です。



地域には絶やせない大切なものがある
「鹿野アートフェスティバル」

8月1日～4日の
四日間、コアプラザ
かのにて鹿野の伝統
工芸品「山代和紙」、
布、石英ガラス、木
土を使った作品展
「鹿野アートフェス
ティバル」が開催さ
れます！ 今年で五
回目となる本年は、

潮音洞開通360周
年を記念した「岩崎
家のお宝展」も開催
します。また、3日
には潮音洞のシンポ
ジウムも開催いたし
ます。鹿野の伝統工
芸品を使った作品た
ちを、ぜひ見に来て
くださいね！

8月2日には、黄
金井脩氏によるライ
ブがあります。いつ
もは漢陽寺さんの庭
を使って行われます
が、今年のご逝去さ
れた二所山田神社の
宮司である宮本公胤
氏を偲んで、二所山

宮本公胤追悼記念 「平成の名水ライブ」



会場：二所山田神社
時間：開場17:00、開演18:00
事務局：090-1018-7527（坂本）

田神社を会場に行わ
れます！ 静かな神
社で、素敵な音楽を
ご堪能ください。
チケットは当日分
もごさいます。詳し
くは、事務局までお
問い合わせください
ませ。



会場：鹿野中心部（上市）
時間：10:00～16:00
＊写真は5月の「鹿野市」です。

懐かしくて、あたらしい、昭和のかほり
「いっておかえり。鹿野市」

8月2、3日は、
鹿野中心部を舞台に
した「いっておかえ
り。鹿野市」が開催
されます。鹿野の街
並みは、道の両側に
家が立ち並ぶ独特な
つくりをしています。
かつては街道の要所
として栄えたこの鹿
野の街並みに、往時
のにぎわいをもう一
度！ と二日限りの
鹿野市が復活です。
ギョウリやカフェ
など、たくさんの方
の物がある「鹿野市」
も四回目。どうぞ
「いっておかえり」
くださいませ。

“網代”走ります！

えーる！



網代車がマルキユ跡地に到着！
皆が見守る中、網代車の押し合い
が行われました！



木村市長もやって来られて、裸坊
の皆さんと一緒にマルキユ跡地
で記念写真です。ここでは、網代
のパフォーマンスの他、よさこい
も披露されました！

発行：
町づくり応援団“えーる”
URL：
<http://straynotes.net/>
Mail：
yell@straynotes.net

天神祭の風物詩、網代車に奉仕する「裸坊」

今年も、七月三十日に
天神祭が開催されました！
皆様は、天神祭といえ
ば何を思い浮かべるでしょ
うか？ きっと、今回特
集する「網代」を思い浮
かべる方もたくさんいらっ
しゃるのではないかと思
います！

この「網代」は、二所
山田神社を出発し、「わっ
しよい、わっしよい」の
掛け声を上げながら、ま
ず下市の「御旅所」まで

を移動する「御神幸」が
行われます。

この網代の見どころは
その後です！ 上の写真
のように、紅と白のたす
きをつけた「裸坊」によ
る、巨大な網代車の押し
合いが上市からマルキユ
ウの跡地の辺りにかけて
行われるんですよ。

裸坊たちは勇ましい掛
け声を上げながら、二組
で車を押し合います。そ
して、その勢いそのまま

に車をその場所で大回転
させるんです！ 時には
押し合ってアスファルト
に接触した車から火花が
散ることもあるのですか
ら、その激しさが想像で
きると思います。実際
屋台の並ぶ通りを走り抜
ける姿を見かけた方も、
たくさんいらっしゃると思
います！

今回の「えーる！」は、
その網代の舞台裏に密着
してみたいと思います。

密着！ 網代の舞台裏

がんばってます、網代保存会！



網代保存会の役員・倉富洋介さんが持っているのが、当日裸坊に配られたお札です！

当日、網代を引くときには皆、このお札を首にかけて網代車奉仕に臨んだんですよ。この写真のお札は、宮本宮司さんによってお清めの終わったお札なんです。

このように勇壮な「網代」ですが、この行事の成功は、「網代保存会」の皆様のご尽力があつてこそのもなんです。

天神祭は、二所山田神社に併設されている菅原道真をまつる「菅原神社」のお祭りです。保存会の話し合いには宮本宮司さんも参加され、よりよい行事にするために、人員の確保や当日の調整など、様々な議論が重ねられてきました。

右の写真にある竹とうろが、神社の境内からずっと道に伸びていたのを見かけた方もいらっしゃると思います。実はこの竹とうろを並べるというアイデアも、網代保存会さんによるものなんですよ！



りが盛り上がるかを考えられています。

毎年、当たり前のように盛り上がり、楽しむことができていた天神祭ですが、その盛況の舞台裏では、たくさんの人が頑張っているんですね！

皆も一緒に

「裸坊」！

このようにたくさんの方の力で支えられている天神祭、そして「網代」に、皆さんも参加してみませんか？ 勇壮な網代の裸坊も、人が増えるこ

とで今よりもっと素晴らしいものになっていくと思います。

網代に興味がある、知人や家族がやってみたいと言っていた、という方は、ぜひ下記までご連絡ください。

みんなと一緒に、素晴らしい行事を作り上げていきましょう！



「網代保存会」連絡先

0834-68-2331

（鹿野総合支所 地域政策課）

090-3748-1780

（網代保存会役員・亀谷）

潮音洞開通360年

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



川から水を引いて取り入れる「取水口」側です。ここから、水が漢陽寺さんにつながっているんですよ。

鹿野に「いのち」を流して、三六〇年
夜はもう寒ささえ覚えるような季節になってまいりました！ もう稲刈りも終わり、秋の仕事が終わるころでしょうか。今月の「えーる！」は、潮音洞についてお届けしたいと思います。以前より何度か取り上げてきた潮音洞ですが、実はこの潮音洞が岩崎想佐衛門重友と地域住民の力によって開通したのは一六五四年。今年二〇一四年から、ちょうど三六〇年前の話なんです。岩崎想佐衛門が潮音洞を掘ることを決意し、山の両側から掘り始めることを計画しました。片方からだけ掘り進めるよりもずっと効率的ですよ。しかし、この場合うまく中につながらなければ、二つのトンネルが出合わ



潮音洞は、昭和41年に県の指定文化財に、平成20年には清流通りと合わせ「平成の名水百選」に指定されています。これからもずっと、守っていききたいですね！

ないままになってしまいます。そこで想佐衛門は、まっすぐ穴を掘るのではなく、ジグザグのつづら折りにトンネルを掘る方法を用いました。こうすることで、二つのトンネルが出合いやすくなる、というわけです。潮音洞の長さはわずか九〇メートル弱ですが、三六〇年も昔、ノミと槌で掘り抜くことは大変な作業であったと思います。鹿野の先人は水がない生活に苦勞を強いられました。潮音洞は、そんな鹿野に水を運んだ、まさに「いのちの道」といえるものだと思います。

清流通りの生き物たち

～ 清流には、いのちが集う ～



さて、潮音洞から流れる水に沿っている「清流通り」にも、たくさんいのちが育っています。左の写真は、二所山田神社付近にあるフジバカマを求めてやってくる「アサギマダラ」です。このアサギマダラは、ただきれいな蝶ではありません。夏に生まれ、秋になり寒くなると、南西諸島や台湾付近まで、約一五〇〇キロの道のりを移動する、渡り鳥ならぬ「渡り蝶」なんです！

このアサギマダラが鹿野を訪れるのは、例年一〇月頃。そろそろ、この蝶の姿を見かけることもあると思います。ぜひ、秋晴れの日は清流通りを歩いてみてくださいね。他にも、清流通りには下の写真のようなカエル、トンボ、写真にはありませんがアメンボがいたり、動物や虫たち以外にも、コスモスが咲いていたりします。たくさんいのちが、清流の中で息づいているんですね！

特に鹿野には、いわゆるアマガエルではなくて、木に卵を産み付ける「モリアオガエル」が生息していることが知られています。二所山田神社の境内で、卵を見た人もいますか？
ちなみにこのカエルは、単にでっかいアマガエル……かな？



これはごくごく普通のトンボですが、もっと大きなトンボも鹿野では見かけられますね！

かのふるさとまつりです

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる

URL：
<http://yell.link/>

Mail：
mail@yell.link



風がとても涼しく、日中でもだんだん長袖が恋しくなってきましたね。今回の「えーる！」では、そんな秋の青天の下、十月十九日に開催されたかのふるさとまつりをご紹介します！ 実際に、会場に行かれたという方もいらっしやると思いますが、上の写真のとおり、会場となったコアプラザかの周辺には、たくさんの人がやってきていました。駐車場として使われていた鹿野小・中学校のグラウンドも、あの広さいっぱい自動車がいっぱい止まっています。こんなにたくさんの方がいるんだ！ と思いました。

よさこいのパフォーマンスで幕開けしたふるさとまつりの会場では、フリーマーケットや鹿野の

雲一つない青空、たくさんの笑顔と、たくさんの元気。

各種団体の出店、ニュースポーツの体験コーナー、そしてメインステージでの出し物など、会場はとても賑やかでした！

イベントだけではなく、知り合いを見つけた方々が「元気かね」とお互いに声をかけ合い、笑い合える、そんな素敵な場所になっていったと思います。このふるさとまつりは今年でなんと二十回目。これからも、たくさんの方々が集うイベントであってほしいですね！





たくさんの「元気」が 鹿野を彩りました！

～鹿野文化祭も、同時開催！～

ふるさとまつりと合わせて、コアプラザかのを会場に、鹿野文化祭も開催されていました！

コアプラザかのの二階部分を主な会場として、たくさんの方が作品が並べられ、賑やかな外とはまた一味違う「鹿野の元気」を見せてくれました！
左の写真にある二階ロビーの展示の他、小学校の作品、パッチワークなど、たくさんの方が作品が飾られていましたよ。
紙面の都合ですべてをお見せすることができま

せんが、少しでもあの雰囲気を感じ出していただければと思います。

大人だけじゃ ないんです！

かのふるさとまつり、鹿野文化祭では、鹿野内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の生徒によるお遊戯、合唱、演奏ステージも開かれていました！
イベントを企画するのは大人たちですが、こうして鹿野に暮らすことも

ところを見せてくれました。こどもたちにとっても、こうしてイベントに参加することがいい思い出として残ってくれるのではないかな、と思います。そして将来、こども

たちが大人になったとき、またこの鹿野を盛り上げてくれるだろうと信じています。

今回は、ふるさとまつりの中にこどもたちが企画したりするイベントがあったりしても、おもしろそうですね！



ふるさとまつりの 舞台裏

最後に、忘れてはいけないことも載せておこうと思います。

賑やかで大成功に終わっ



たふるさとまつり、鹿野文化祭は、決して簡単に作られているものではないと思います。たくさんの方たちが考え、悩んで作り上げられたものですし、前日には休日の貴重な時間を割いて、イベントの準備に出ていた方たちがいるんですね。
決して表に名前が出てこないけれども、こうした「裏方」のスタッフの努力があってこそ、イベントは成功に終わるものだと思います。

スタッフの皆さんも、本当にお疲れ様でした！

渋川の「絆」がここに！

えーる！

発行：
まちづくり応援団えーる
URL：
<http://yell.link/>
Mail：
mail@yell.link



もうすっかり寒くなりましたね！ 先日温度計を見てみると、なんと2℃……もう、すっかり冬模様ですね。今回の「えーる！」では、十月・十一月にあった催しを紹介していききたいと思います。

先月の二十六日には、渋川小学校跡地を会場に、「しぶかわ収穫祭」が開かれました！ 当イベントを主催した農事組合法人「渋川」の代表理事・野村邦幸さんによると、この催しは「ぜひ、みなさんに渋川を知ってもらいたい。皆で野菜などを持ち寄って、みんなの力で作りたい」という思いがあって、行われているものなのだそうです。

その思いの通り、会場にはたくさんの方が足を運び、渋川の米・野菜を

米に野菜、ヤマメも！ 「しぶかわ収穫祭」大盛況！

楽しんでいらっしやいました。会場では米・野菜のほか、焼いたヤマメも販売され、まさに自然の恵みがたくさんあるなと感じました。

会場では餅つきも行われていて、お願いして杵を握らせていただきました……が、これがけっこう難しい！ なかなか思うように餅をつくことができず、地域の方にアド

バイスをお願いしつつ挑戦していただきました。昔は当たり前に行われていたであろう餅つきですが、わたしが杵を握ったのは人生二回目。昔の当たり前が、今は当たり前でないのだなと感じました。人と触れ合いながら、当たり前のことが伝わっていくのだと思います。人と触れ合うことの大事さを感じる一日でした。

会場でうっかりコンタクトを落としてしまった方がいらっしやいました。でも、周りの人が一緒になって探してくださったそうです！ 渋川の人は温かいな、と感じるお話でした。



5回目の“いっておかえり”

～渋柿が、火を通しただけで“あま～い”？ 焼き柿の秘密～



さて、月が変わって十一月には、今回で五回目となる「いっておかえり鹿野市」が開催されました！ 上市地区を舞台として今回も大盛況でした。今回の目玉は、何と言っても下の写真にもある「柿」です。

は渋柿なんです。渋柿といえは、真ん中の写真のように軒下につるして渋を抜く、という方法が一般的ですが、鹿野にはある方法で渋を抜いている料理（？）があるんです。それがタイトルにもある「焼き柿」なんです。方法としては簡単で、渋柿をホイルでくるんで

七輪にかけるだけ。

たったこれだけで、渋柿がまるで焼き芋でも食べているのか？ というような甘い柿に大変身するんです。会場では、山口県立大学の学生さんが結成した「鹿野人（かのんちゅ）」による焼き柿の無料配布が行われていました。初めて見る方も多かったようで、その甘さにびっくりされていたよ！

この焼き柿なんですが、渋柿ならなんでもいいと



いうわけではありませぬ。「ぶり柿」という柿でなければ、渋が抜けないんですよ。

そして、この「焼き柿」ですが、昔は七輪にわざわざかけることはし

にも皆が入り終わったお風呂の中に、桶に入れた柿を沈めておいた……なんてこともあったそうです。使えるものを有効活用している、昔の人の知恵だなと思いました。

柿の他にも、地区の方や鹿野陶芸クラブの方に
よる作品販売など、
たくさんのお店が並んでおり、往年の賑わいを感じる事ができました。

今回の鹿野市も
もぜひ、鹿野へ
「いっておかえり」
くださいませ！



なかったそうです。

